

令和6年9月11日

報道関係者 各位

『しまばら 家庭教育 三・三・七拍子!』のぼり旗の配布について

このことについて、『しまばら 家庭教育 三・三・七拍子!』のさらなる周知を図るため、のぼり旗を作成し、市内各中学校へ配布しましたので、お知らせします。

のぼり旗は、『しまばら 家庭教育 三・三・七拍子!』の「あいさつ」の項目を取り上げたもので、去年の各小学校への配布に引き続き、今年は各中学校へ2枚ずつ配布いたしました。今後、毎月1日の「少年の日」に実施している「あいさつ運動」等において、活用をしていく予定です。

記

1. 添付資料 中学校配布時の写真

【参考】『しまばら 家庭教育 三・三・七拍子!』リーフレット

【参考】あいさつ運動

※『しまばら 家庭教育 三・三・七拍子!』は、本市社会教育委員の会が社会教育の活性化に向けて、「家庭の教育力」に関する研究協議を行い、家庭教育の重要性の意識化を図るために「親（保護者）の役割」を3項目、「家庭・地域の役割」を3項目、「子どもにしたいこと」を7項目に取りまとめて平成28年度に作成したリーフレットです。

未来へつなぐ島原らしさ 暮らし続けたい、訪れてみたい、魅力あふれるまち



担当：島原市教育委員会社会教育課
社会教育文化班 担当：帯田、末吉、峰
電話：0957-68-5473
E-mail：shakyo@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

【写真】

令和6年9月5日(木)、島原市社会教育委員の会 豊田芳明委員長 金子統太郎委員が、各中学校を訪問し、『しまばら 家庭教育 三・三・七拍子!』のぼり旗を配布しました。



第一中学校



第二中学校



第三中学校



三会中学校



有明中学校

親(保護者)の役割

1 親としての「学び」

子どもは親の
背中を見ながら育ちます



子どもは、親の生き方や言動にふれながら多くのことを学びます。
“学ぶ親”を目指しましょう。

2 親は「理解者・支援者」

子どもは親の
理解と支援があって力をつけます



子どもの良さを見つけ、しっかりほめ、応援し、子どもが自信と夢や志を持つように努めましょう。

3 親は生きる力の「伝授者」

子どもは親の
強く温かい言葉を待っています



親の思いや願いをしっかり伝え、子どもの価値観や道徳性、生きる力をはぐくみましょう。

家庭・地域の役割

1 家族の団らん・きずな

家族の会話・ふれあいを大切に



会話は家族の基本です。子どもの話を良く聴き、心が通い合う家庭の雰囲気をつくりましょう。

2 家族の役割分担

家族一人ひとりが役割を持って



家族が共に働く中で、責任感・自立心・協調性などが育ちます。子どもに役割を持たせましょう。

3 地域全体で子育て

地域の行事には子どもと一緒に



子どもは地域の宝であり未来です。大人みんなが、子ども達に声をかけ、見守り、育てましょう。

1 あいさつ・言葉づかい

あいさつは大きな声で自分から



「あいさつ」は、心と心をつなぐ魔法の言葉です。「正しい言葉づかい」は、豊かな心とあたたかい人間関係を築きます。

2 基本的な生活習慣

早寝・早起き・朝ごはん



規則正しい生活は、健康な心と身体を育てます。
まずは、朝一番自分で起床！
生活のリズムをつくりましょう。

3 家庭学習・読書

進んで勉強！ 楽しく読書！



家庭学習は確かな学力を身につけ、読書は豊かな心を育てます。
「毎日、机に向かう」ことを習慣にしましょう。

4 善悪の判断・社会的なルール

よく考えて
して良いこと いけないこと



善し悪しの判断力を持つことや社会的ルールを守って行動することは、人として生きる上での基本です。

心豊かでたくましく生きる島原っ子をはぐくむための しまばら家庭教育 三・三・七拍子!

— 子どもに 愛と思いを伝え 手本を示し ほめて 叱って 見守って —

我が家の目標 (家族で話し合って決め 家族みんなで取り組みましょう)



7 メディアとのつき合い方

使い方はルールを決めて



テレビ・スマホ・ゲーム機などの長時間の使用は、子どもの成長に良くない影響があります。家庭でルールをつくりましょう。

6 命の尊さ

かけがえのない命を大切に



命はひとつ。かけがえのない宝物です。
自分の命と、まわりのすべての命を大切にしましょう。

5 思いやり・素直な心

言葉にしよう
「ありがとう」「ごめんなさい」



思いやりや感謝の心を、素直に言葉にすることで、自分も相手も心があたたかくなり、より良い人間関係が築けます。